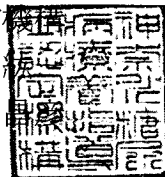


2019年6月吉日

神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会
会長 清崎 由美子 様

神奈川糖尿病療養指導士認定機構

代表 平尾
運営委員長 高井



第13回神奈川糖尿病療養指導士認定機構研修会 ご案内

拝啓 梅雨の候 貴会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども神奈川糖尿病療養指導士認定機構は県内の10の団体・研究会が発起団体となり、糖尿病療養支援の向上のため、日頃より様々な研究会を開催しております。また糖尿病療養支援に関わる医療・介護・福祉従事者(事務スタッフを含む)等に対し、糖尿病療養支援を行う上で十分な知識と技術を有することを認定し、その証の発行を行っています。

この度、第13回神奈川糖尿病療養指導士認定機構研修会を別紙の要領にて開催させて頂く事となりました。

この会は医師およびメディカルスタッフを対象に糖尿病治療の普及を図ることを目的に年1回、開催してきました。今回はメインテーマを「これでまるわかり！高齢者糖尿病」と題し、特別講演(1演題)、レクチャー(5演題)を予定しております。(詳細につきましては、別紙プログラムをご参照ください)

どの講演・報告も、メディカルスタッフの方々にとって、役立つ研修会にしたいと考えております。つきましては、貴会会員の皆様方にも多数ご参加いただきますよう広報にご協力いただきたくお願いする次第でございます。

敬具

第13回神奈川糖尿病療養指導士
認定機構研修会 案内協力について

●研修会案内の協力について

- ①チラシ配布に協力する（ 枚）
②チラシではなく、ホームページに掲載する
③辞退する

いずれかに○印をお付けください

貴会名

ご住所

電話番号

ご担当者名

備考

※神奈川糖尿病療養指導士認定機構事務局（大波・大井）までFAXにてご返信下さい。

FAX：045-313-2113

電話：045-313-2111

第13回神奈川糖尿病療養指導士認定機構研修会

◇◇これできるわかり！高齢者糖尿病◇◇

日時 2019年 9月1日(日) 13:00~16:50(受付開始12:00~)

会場 新都市ホール《そごう横浜店9階》(定員:900名)

主催 神奈川糖尿病療養指導士認定機構

プログラム

※すでにお申込やお振込を頂いている方は行き違いのご連絡となりますのでご容赦下さい。(一度お申込み頂いている場合は再度の申込は不要です)

特別講演

『サルコペニア、フレイルを考慮した高齢者の糖尿病治療』

演者:東京都健康長寿医療センター 副院長
内科総括部長 荒木 厚氏

レクチャー③

『サルコペニアチェックと運動療法の実際』

演者:大塚 洋 KLCDE運営副委員長

レクチャー①

『糖尿病と認知症~両者を考えたアプローチ~』

演者:湘南いなほクリニック院長 内門 大丈氏

レクチャー④

『糖尿病と低血糖』

演者:大津 成之 KLCDE運営委員

レクチャー②

『生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防と歯科の関係』

演者:武内歯科医院 院長 武内 博朗氏

レクチャー⑤

『糖尿病の高齢者への薬物療法の注意点』

演者:厚田 幸一郎 KLCDE運営委員

《 申 込 方 法 》

参加費 事前振込 2,000円(当日支払い3,000円) ※資料代込み。お振込後の返金は出来ません。

★必ず事前に FAX 等でお申し込み下さい。その後、下記口座へ、なるべく8/23(金)までに参加費をお振込みください。またその際、通信欄に「参加者氏名」と「第13回 KLCDE 研修会参加費」とお書き下さい。資料は当日配布です。 ※開催日間近でご入金された場合は、研修会当日に「振り込み控え」を必ずご持参下さい。

振込先 郵便局口座名:神奈川糖尿病療養指導士認定機構

口座番号: 00250-0-64697

~研修会にお申し込みをされた方へ~

※お申し込みが受け付けられた旨の連絡はしておりません。(別段連絡が無い限り受け付けられております)

※会場は座席により空調がききすぎることがございます。必要な方は上着、ひざかけ等をご用意ください。

《問合せ》

担当: 大波 大井まで
電話 045-313-2111

第13回 KLCDE 研修会 参加申込書 《FAX 045-313-2113》

代表者に○	フリガナ	参加者氏名	職種

代表者連絡先ご住所
どちらかに○のチェック
(自宅 又は 施設) 〒

ご連絡先 Ⅲ

ご連絡先 FAX

施設名

(自宅 又は 施設)

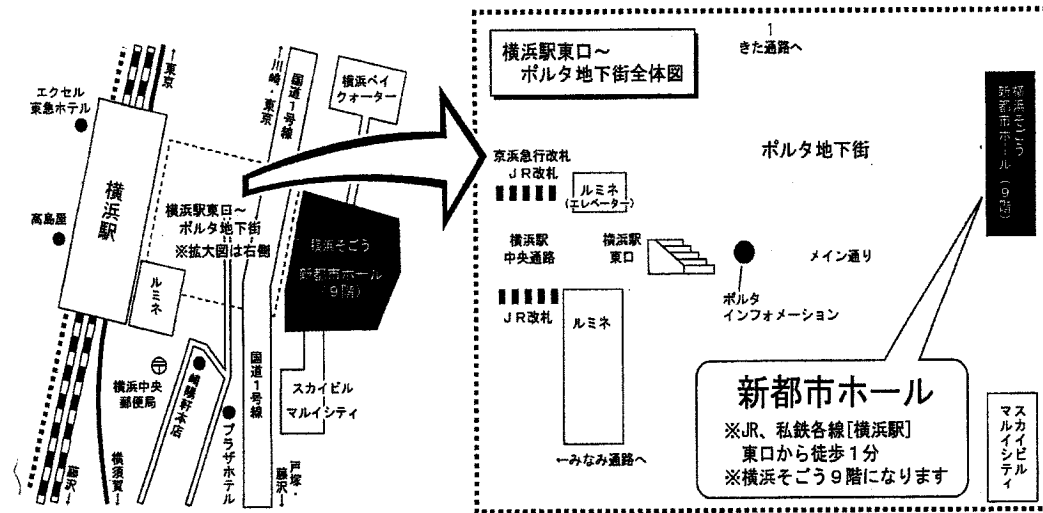
()

(自宅 又は 施設)

()

◎複数お申し込みの場合は、全員のお名前・フリガナ・ご職業をご記入下さい。■お申込み後、参加費をお振込み下さい。

【新都市ホール会場図】



取得単位

神奈川県糖尿病療養指導士認定のための研修会(5単位) / 日本糖尿病協会療養指導医取得のための講習会・登録歯科医のための講習会 / 日本糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会(第2群1単位)、栄養士、臨床検査技師については第1群申請中 / 日医生涯教育認定講座申請予定

プログラム<レクチャー・特別講演要旨>

特別講演

『サルコペニア、フレイルを考慮した

高齢者の糖尿病治療』

糖尿病患者はサルコペニア・フレイルをきたしやすく、その要因にはインスリン作用不足、高血糖、身体活動低下、低栄養などがある。サルコペニア・フレイルの進行予防のためにはレジスタンス運動やタンパク質の十分な摂取が必要である。薬物療法では重症低血糖、転倒・骨折などに注意する。

③『サルコペニアチェックと運動療法の実際』

医療施設で行うサルコペニアチェックの項目として歩行速度と握力、筋肉量測定(BIA)、片足立ち、下腿測定などを実施します。実施した項目に基づいて効果的な動作運動などを実技も合わせてご紹介致します。

①『糖尿病と認知症～両者を考えたアプローチ～』

超高齢社会の中で、認知症と糖尿病は重要な健康課題であり、相互に病状を悪化させる可能性がある。認知症を理解することは、糖尿病治療をする上で重要である。今回は、糖尿病を伴う認知症患者へのアプローチについて解説する。

④『糖尿病と低血糖』

高齢者糖尿病の指針は重症低血糖を危惧すべき薬剤使用時のHbA1c目標を緩和するよう推奨した。一方糖尿病の治療において依然低血糖は避けられない。改めてこの低血糖につき基礎から解説したいと思う。

②『生活習慣病(NCDs)の発症予防・

重症化予防と歯科の関係』

歯科とNCDs(Non-communicable diseases=生活習慣病)の関係は、(1)歯周炎(慢性持続性炎症と歯原性菌血症)の制御による血管・代謝の改善(2)咀嚼機能回復による代謝・体組成の改善の2つです。これらについて簡潔にご紹介します。

⑤『糖尿病の高齢者への薬物療法の注意点』

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標では、重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤、SU薬、グリニド薬)の使用がある場合の血糖コントロール目標は、重症低血糖回避を優先し下限値が設定されている。重症低血糖発症の現状と対策について述べる。